

戸倉小学校 災害復旧工事起工式

津波で被災した戸倉小学校の校舎が再建されることになり、9月3日(水)、起工式が行われました。現在、戸倉小学校の生徒は志津川小学校の校舎を間借りして授業を受けております。起工式には町長をはじめとした関係者ら約30名が参加し、鍬入れを行って工事の安全を祈願しました。新校舎は鉄筋コンクリート造りの2階建てで、もとの校舎からおよそ1キロメートル離れた高台に建設されます。待望の校舎は来年の夏に完成する予定です。



みんなの作品展

9月4日(木)から8日(月)、町内や登米市の仮設住宅に入居している人たちが制作した作品の展示会が行われました。仮設住宅で暮らすみなさんが、元気の源として進めているさまざまな作品の成果を発表するもので、編み物からミニ盆栽、写真、川柳など約100人の制作者による作品が約400点展示されました。布で作った干し柿の作品では、へたの部分に本物を使うなど細部に制作者のこだわりが見られ、来場者はそれぞれの作品を食い入るように見つめていました。



志津川地区現場見学会

9月7日(日)、志津川地区における復興事業の現場見学会が開催されました。新病院が建設される高台東地区と区画整理事業が進む志津川低地部の2つの会場が設置され、会場を行き来する連絡バスが定期的に運行されていました。町長らによる復興事業の説明では来場者が大勢集まり、耳を傾けていました。重機械の試乗では、子どもたちが運転席に乗り、滅多に乗ることができない乗り物に興味津々な様子でした。そのほかにも、重機デモンストレーションや各種イベントなどが行われ、楽しみながらも、復興の現場を間近で感じることができるイベントでした。



ツール・ド・東北2014 in 宮城・南三陸

9月14日(日)、東日本大震災で被災した沿岸部を自転車で行くイベントが開催されました。今回で第2回目となるこのイベントは、昨年の2倍となる約3,000名のライダーが参加し、女川・雄勝フォンド(60キロ)、北上フォンド(100キロ)、南三陸フォンド(170キロ)、気仙沼フォンド(220キロ)の4つのコースが設けられました。9つある休憩所では、その地域での味覚を味わうことができ、南三陸町では銀鮭のからあげやシーフードカレーなどが提供されました。ライダーたちは、沿道の声援に応えながら、ゴールを目指し、長いコースを駆け抜けていきました。

八幡川かがり火まつり福興市

8月30日(土)、八幡川かがり火まつりと福興市がタイアップするかたちでイベントが開催されました。ステージではライブや郷土芸能のほか、浴衣コンテストも開催されました。また、復興支援で同町をサポートしてくださっている愛知県新城市の方々のご厚意により、三河の伝統芸能である手筒花火が披露されました。噴出式の花火で、筒を人が抱えながら行う花火に来場者全員が魅了されました。

